

第35期長崎県社会教育委員紹介

所属 長崎県立北松西高等学校 (校長)

氏名 福田 雅子

主な活動

北松西高等学校は、小中高一貫教育を推進して、今年度で12年目を迎える地域密着型の学校です。環境教育として小中学校の児童生徒たちと共に海浜清掃を行ったり、町民レクリエーションや町民文化祭ではボランティアスタッフとしての活動と同時に出演者として参加したりする等、年間を通して地域との連携や協働の場面が数多くあります。今回はその中から“アイランドチャレンジ事業”について2つご紹介いたします。

これは、小値賀町役場や地域団体と連携して、本校の魅力化につながる取組を行い、教育水準の維持・向上を図りながら学校と地域の活性化を図ることを目的にしています。

- ① 町議会への提案型プレゼンテーション：総合的な学習・探究の時間を使って、町議会への提案を最終ゴールとするプロジェクト。地域の魅力や問題点を見出し、現状把握、原因分析、解決策の提案を行います。昨年度提案した「藻場の再生」については、今年度予算化され、今後対策の一つを役場と連携して実施予定です。
- ② 地域の食材を利用した商品開発：フードデザインの授業選択者を中心に、小値賀に自生するシソ科の植物“ハマゴウ”を使ったクッキー作りに取り組んでいます。地域の“母ちゃんの会”の方々や担い手公社のアドバイスを基に改良を重ねて、販売を目指しています。



【地域産業まつりでの商品配布】



【町議場でのプレゼンテーション】

社会教育に対する思い

新学習指導要領では、新しい時代の教育や地方創生の実現に向け「地域とともにある学校」を目指すことが求められています。本校も現在多くの活動や行事に地域の力をお借りしていますが、保護者は勿論ですが地域全体で子どもを「育む」ことに参画して下さっています。講演会や芸術鑑賞会を学校で開催するときには、地域にも広くお知らせして、学校へ足を運んでいただくように心がけています。実は、このような関係性も広義の社会教育であるということを社会教育委員の研修会に参加するようになって、私自身が学びました。学校教育と地域の社会教育の連携・協働をこれからも柔軟に推進し、元気な地域づくりにつなげたいと思っていますところです。